

モニタリング結果報告書

施設 宮川特別泊地、宮川一時停係泊特別泊地及び宮川環境整備施設

指定管理者 みうら漁業協同組合

施設所管課 東部漁港事務所（水産課）

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月7日	5月19日	留意・改善事項なし
5月	6月4日	6月22日	留意・改善事項なし
6月	7月5日	8月4日	速やかな事故報告を行うよう注意した
7月	8月5日	8月17日	留意・改善事項なし
8月	9月6日	9月17日	留意・改善事項なし
9月	10月5日	10月26日	留意・改善事項なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

利用者に地元の新鮮な魚介類や野菜等を廉価で継続的に提供することにより、地域振興・活性化に努めると共に利用者の意見を聞きながら、漁業者と調整を図り、新たな漁港の利用を検討する。

< 実施状況 >

1 バーベキュー機材の貸出

管理棟横のスペース等で、バーベキューを楽しみたい利用者に対し、機材の貸出を行った。

2 地元の新鮮な魚介類や野菜等の提供

地元でとれたサザエ、アワビ、トコブシなどの海産物やダイコンなどの農作物を廉価で販売した。

また、周辺に商業施設は無く、持参することが難しい氷については、釣りを楽しむボート所有者へ常時、安定的に有償で提供している。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	16,600	9,202	5,600	1,800	16,600	0
上半期計 (a)	9,689	4,606	3,696 (3,773)	1,387	8,135	1,554
下半期計 (b)						
4月	1,573	776	331 (388)	466	1,130	443
5月	1,781	766	863 (716)	152	1,249	532
6月	1,185	766	363 (390)	56	2,127	△941
7月	1,553	766	662 (529)	124	1,148	404
8月	1,849	766	868 (914)	215	1,273	576
9月	1,745	766	607 (833)	371	1,205	539
合計 (a+b)	9,689	4,606	3,696 (3,773)	1,387	8,135	1,554

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

収入の利用料金、その他収入（自主事業）は、前年とほぼ同じであるが、夏期の利用が多いため、上半期に収入が多い。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首) (期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

宮川一時停係泊特別泊地

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	21 隻	14 隻	50.0%
下半期計 (b)	隻	隻	%
4月	1 隻	1 隻	0.0%
5月	1 隻	4 隻	△75.0%
6月	1 隻	3 隻	△66.7%
7月	5 隻	1 隻	400.0%
8月	5 隻	4 隻	25.0%
9月	8 隻	1 隻	700.0%
合計(a+b)	21 隻	14 隻	50.0%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

前年同期比では50%の利用者の増となった。自然相手の施設で利用可能数の分母（5隻分の泊地）が小さく、天候にも影響され、増減幅がある。

宮川環境整備施設（駐車場）

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	4,485 台	4,647 台	△3.5%
下半期計 (b)	台	台	%
4月	407 台	494 台	△17.6%
5月	970 台	841 台	15.3%
6月	479 台	522 台	△8.2%
7月	778 台	640 台	21.6%
8月	1,126 台	1,191 台	△5.5%
9月	725 台	959 台	△24.4%
合計(a+b)	4,485 台	4,647 台	△3.5%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

上半期の駐車場の利用者は3.5%の減と前年とほぼ同じ利用状況であった。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分) なし

(施設所管課受付分) なし

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						

報告月	口頭	文書	合計
4月			
5月			
6月			
7月			
8月			
9月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
6月13日	湾内で衝突事故

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		なし	

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

上半期の施設利用者は前年とほぼ同じ利用状況であった。
6月13日（日）に停泊中の艇に帰港した艇が衝突したが、幸いけが人もなく、ヨットの破損も小さかった。指定管理者から被害にあった艇の所有者へ連絡を取り、加害、被害者両者で話し合いの結果、保険で対応することとなった。
事故直後、状況を掲示板で利用者へ周知するとともに今回の事故はゲスト（オーナー以外）が操船していたことから、ゲストが操船する際はオーナーが必ずそばにつきよう、注意喚起をおこなうなど適切に対応した。
しかしながら、東部漁港事務所への連絡・報告が月例報告時となってしまったので、今後は速やかに連絡するよう努めることとする。
その他、指定管理業務は、問題なく良好に行われた。

施設所管課

施設の維持管理面での職務は良好で、現地でも利用者からは良い評価を得ている。
日頃から利用者との対応も丁寧で好印象を与えている。自主事業を行って、サービス向上を図り、利用者の増加に努めている。
6月13日（日）の事故の対応も適切であったが、事故の大小にかかわらず、東部漁港事務所へ速やかに連絡するよう、注意喚起を行った。